

主な出来事

【内政】

●6月9日、ロウレンソ大統領は TPA によるインタビューの中で、現時点で 2027 年選挙の大統領候補者は存在せず、そのように称する者がいたら公に否定する旨明言した。

●6月19日、アンゴラ国民議会は、MPLA、PRS、FNLA、PHA の各政党が指名した国家選挙委員会(CNE)の選挙管理委員候補者名簿を承認。UNITA は、候補者を「いつでも提出する(用意がある)」と表明した。

【外交】

●大統領府は、独立 50 周年記念式典への 1 人目の国家元首の招待者として、キューバ大統領の招待を発表。70 名以上の国家元首が招待を受ける見込み。

●6月22-25日、ルアンダにて第 17 回米・アフリカ・ビジネスサミットが開催され、各国国家元首 10 名を含む計 2,900 人以上が参加した。

●6月29日、ロウレンソ大統領は、同月 27 日に米国で署名されたコンゴ(民)・ルワンダ間の和平合意を歓迎する旨の声明を発表した。

【日アンゴラ関係】

●6月5日、アンゴラ訪問中の宮崎桂国際協力機構(JICA)副理事長は、ジョゼ・デ・リマ・マサーノ大統領府経済調整担当大臣と意見交換を実施。同大臣から電力、水、インフラ整備にかかるアンゴラからのニーズ説明を受けた。

【経済】

●国家統計局(INE)は、GDP の計算方法を見直し、国家統計局の最新のマニュアル(2008 年)に準拠した手法を採用したことを発表した。

●INEによると、5月のインフレ率は前月比 1.17%、前年同月比 20.74%の上昇を記録。

●6月24日、フィットレル国務省アフリカ担当上級職は、米・アフリカ・ビジネスサミットにて、米国によるロビト回廊への新規 25 億米ドル分を含む総額 50 億米ドル分の投資を約束した。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

人が負傷、活動家が一時行方不明になった後に重症の状態救出された。

内政

1. UNITA 襲撃に対する非難

UNITA は、5月31日にウアンボ州ガラガ市で発生した州書記長兼国会議員の車列に対する襲撃を非難。襲撃は一般市民の一団によるもので、5

2. TPA によるロウレンソ大統領へのインタビュー

6月9日、ロウレンソ大統領は TPA によるインタビューの中で、現時点で 2027 年選挙の大統領候

補者は存在せず、そのように称する者がいたら公に否定する旨明言した。

3. UNITA による MPLA による攻撃の責任追及

6 月 13 日、UNITA はウアンボ州において同党の代表団が受けた攻撃に関し、「MPLA 党员と特定された個人」によるものと指摘し、犯人の責任を追及するよう求めた。

4. CNE の構成にかかる訴えの棄却

憲法裁判所は、国家選挙委員会 (CNE) の委員数の構成は国会における政党の構成比を反映していないとの UNITA の訴えを棄却。理由として、同構成の国会承認が憲法及び法律に違反していないことを挙げた。

5. 国会による CNE 委員の承認

6 月 19 日、アンゴラ国民議会は、MPLA、PRS、FNLA、PHA の各政党が指名した CNE の選挙管理委員候補者名簿を承認。候補者を指名していない UNITA は、候補者を「いつでも提出する (用意がある)」と表明した。

6. GAFI の監視リストからの脱却に向けた取り組み

6 月 26 日、ジルベルト・カペサ／アンゴラ資金情報機関 (FIU) 長官は、金融活動作業部会 (GAFI) の強化監視リストからの脱却に向けて、国際通貨基金 (IMF)、グローバル・ファシリティ、ポルトガル資金洗浄対策調整機関等との連携していく旨強調した。

外交

1. JICA 副理事長のアンゴラ訪問

6 月 5 日、アンゴラ訪問中の宮崎桂国際協力機構 (JICA) 副理事長は、ジョゼ・デ・リマ・マサーノ大統領府経済調整担当大臣と意見交換を実施。会談後、同副理事長は、特に電力、水、インフラ整備にかかるニーズについて大臣から説明を受けたと

述べ、併せて、日本はアンゴラにおける様々なプロジェクトに累計 6 億 736 万ドルを投資してきたと明らかにした。

2. 李在民／新韓国大統領に対する祝賀メッセージ

6 月 5 日、ロウレンソ大統領は、韓国大統領選挙で勝利した李在民大統領に対し祝賀メッセージを送付。メッセージにて、二国間協力の深化と商業、企業分野を含む多様な分野での取り組みを推進し、両国の繁栄に貢献する確固たる歩みを踏み出すと確信している旨強調した。

3. テテ・アントニオ外相の FOCAC の結果実施に関する調整官会議への参加

6 月 9-10 日、テテ・アントニオ外相は、中国・アフリカ協力フォーラム (FOCAC) の結果実施に関する調整官会議に参加。同会議の margins にて、アンゴラと中国は、中国からの医療チーム派遣に関する協定及び「経済協力パートナーシップ枠組み協定」に署名した。

4. 独立 50 周年式典へのキューバ大統領の招待

大統領府は、独立 50 周年記念式典へ 1 人目の国家元首の招待者として、キューバ大統領の招待を発表。70 名以上の国家元首が招待を受ける見込み。

5. アンゴラにおける米・アフリカ・ビジネスサミットの開催

6 月 22-25 日、ルアンダにて第 17 回米・アフリカ・ビジネスサミットが開催された。同サミットには、各国国家元首 10 名、首相 4 名及びアフリカ連合委員会委員長を含む計 2,900 人以上が参加。ロウレンソ大統領は演説にて、「アフリカと米国という、共通の歴史的背景によって深く結びついた、国家及び国民の発展に相互利益をもたらす、戦略的パートナーシップのビジョンに基づく、経済的パラダ

イムの構築を継続するための、貴重な場」であると発言した。

6. コンゴ(民)及びルワンダ間の和平合意に対するロウレンソ大統領の声明

6月29日、ロウレンソ大統領は、同月27日に米国で署名されたコンゴ(民)・ルワンダ間の和平合意を歓迎し、「関係各国が同協定で表明した約束を履行することを希望し、コンゴ(民)で継続中の紛争の最終的な解決に向けたプロセスにおける未解決のすべての問題を早期に解決するよう強く促す」との声明を発表した。

経済

1. GDP 計算方法の変更

国家統計局(INE)は、GDP の計算方法を見直し、IMF の最新のマニュアル(2008 年)に準拠した手法を採用したことを発表。また、基準年も 2002 年から 2015 年へと変更。これにより、以前の計算方法と比べ、GDP は年間平均 165 億米ドル多く計上されることになる。

2. エネルギー供給事業にかかる中国企業との覚書の署名

6月9日、エネルギー・水省は、中国 CMEC (China Machinery Engineering Corporation)社と電力の生成と供給の改善、市町村および州の行政機関における飲料水供給システムの建設、技術支援、人材育成、水力設備の供給を確保することを目的とした覚書に署名した。

3. EU によるアンゴラの金融犯罪にかかる高リスク国への追加

欧州委員会は、金融犯罪に対する国際的な対策を強化するため、アンゴラを含む 10 か国を高リスク国に追加。これにより EU は、アンゴラが関与する取引に対する監視を強化する。

4. 5 月のインフレ率

INEによると、5月のインフレ率は前月比 1.17%、前年同月比 20.74%の上昇を記録。

5. 対内債務の未払い問題

エспанサオン紙は、1996 年以降に未払いとなっている対内債務は、2.6 兆クワンザ(約 28.5 億米ドル)になるとの試算を発表。うち 62%は CITIC (China International Trust Investment Corporation)社等の建設企業に対するもの。未払いの債務の中には、最終債務機関の責任者(州知事及び大臣)から債務の存在自体が承認されていないケースもある。

6. 米国によるロビト回廊への投資の再表明

6月24日、米・アフリカ・ビジネスサミットに参加するためアンゴラを訪れていたトロイ・フィトレル国務省アフリカ担当上級職は、米国はロビト回廊に対して、新規 25 億米ドル分を含む総額 50 億米ドル分の投資を約束した。

(了)